

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ウェッズ

コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川口 修

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役商品本部長兼管理本部長 (氏名) 谷越 時義

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

TEL 03-5753-8201

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,774	△12.5	54	115.1	60	△33.8	24	△48.2
21年3月期第1四半期	4,311	—	25	—	90	—	47	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	5.62	—
21年3月期第1四半期	10.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	10,680	6,524	61.1	1,503.60
21年3月期	11,548	6,589	57.1	1,493.75

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 6,524百万円 21年3月期 6,589百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	8,600	△6.1	10	—	10	△81.8	10	△53.6	2.27
通期	21,500	0.2	450	61.7	450	47.5	210	88.6	47.61

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	4,445,000株	21年3月期	4,445,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	105,562株	21年3月期	33,762株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	4,380,908株	21年3月期第1四半期	4,444,924株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、サブプライムローンに端を発した米国経済の減速や国内では前期第3、第4四半期の企業業績と個人消費の落ち込みと為替・株価の変動により、引き続き景気の減速が懸念される状況となりました。特に個人消費は、雇用・所得環境は一段と厳しさを増しているものの、定額給付金、エコカー減税、エコポイント制度などの施策効果から一部に下げ止まりの動きがみられる状況となりました。しかしながら、当社グループと密接な関係にある自動車業界や自動車用品のアフターマーケットの需要は依然として低調に推移しております。

このような環境において、当社グループは積極的な営業活動と利益体質強化に努めた結果、当第1四半期の売上高は自動車関連卸売事業、開発事業の減収により3,774百万円（前年同期比12.5%の減収）、営業利益は自動車関連小売事業等の改善により54百万円（前年同期比115.1%の増益）になりました。また、経常利益は60百万円（前年同期比33.8%の減益）、四半期純利益は24百万円（前年同期比48.2%の減益）になりました。

(セグメント別の概況)

(単位：百万円)

		自動車関連卸売事業	自動車関連小売事業	開発事業	福祉事業	その他	消去	連結
売上高	当第1四半期連結累計期間	3,044	365	91	130	171	△29	3,774
	前第1四半期連結累計期間	3,415	344	326	115	148	△39	4,311
営業利益又は営業損失(△)	当第1四半期連結累計期間	51	△10	△13	16	7	3	54
	前第1四半期連結累計期間	41	△32	9	13	△7	0	25

(自動車関連卸売事業)

自動車関連卸売事業は個人消費の低迷の影響により、売上高は3,044百万円となり前年同期比370百万円(10.9%)の減収となりました。これは、高・中級アルミホイールとカー用品の売上が減少したためであります。一方、営業利益は運送費などの経費削減効果により51百万円となり前年同期比10百万円(24.8%)の増益となりました。

(自動車関連小売事業)

自動車関連小売事業は個人消費の低迷が懸念されましたが、今年3月に開始されたE T C補助金制度の特需効果もあり、売上高は365百万円となり前年同期比20百万円(6.0%)の増収となりました。営業損失は10百万円と前年同期より21百万円の改善となりました。これは仕入コスト等の削減により売上原価が下がったことによるものであります。

(開発事業)

開発事業の売上高は、91百万円となり前年同期比235百万円(72.1%)の大幅な減収となりました。営業損失は13百万円となり前期比23百万円の損失増となりました。これは、昨年10月以降の急激な自動車関連需要の低下により大口納入先である中央精機㈱等に対する機械納入が減少したためであります。

(福祉事業)

福祉事業の売上高は、130百万円となり前年同期比15百万円(13.4%)の増収となりました。営業利益は16百万円となり前年同期比2百万円(20.7%)の増益となりました。これらはグレイシャスピラ安城の事業が軌道に乗り入居率も概ね満床となったためであります。

(その他)

携帯電話代理店事業の売上高は、171百万円となり前年同期比22百万円(15.4%)の増収となりました。営業利益は7百万円となり前年同期比14百万円の増益となりました。これは、ソフトバンク3店舗の携帯電話販売台数増に伴う売上高が増加したためであります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産額は10,680百万円となり、前連結会計年度末比867百万円の減少となりました。主たる要因は、売掛債権の回収期にあたり、受取手形及び売掛金の減少等、流動資産の減少によるものです。負債総額は4,156百万円となり前連結会計年度末比803百万円の減少となりました。主たる要因は借入金の減少と流動負債の減少であります。これらの結果、純資産額は6,524百万円となり前連結会計年度末比64百万円の減少となりました。主たる要因は繰延ヘッジ損益の減少と自己株式取得による減少であります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成21年5月14日付当社「平成21年3月期決算短信」にて発表いたしました平成22年3月期の第2四半期連結累計期間（連結）および第2四半期累計期間（個別）また平成22年3月期の通期連結累計期間（連結）および通期累計期間（個別）の業績予想の修正はありません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 1. 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	655,049	646,389
受取手形及び売掛金	2,036,274	2,942,906
商品	2,422,825	2,279,229
仕掛品	231,611	273,411
原材料及び貯蔵品	36,189	34,638
繰延税金資産	63,651	48,794
その他	330,620	426,448
貸倒引当金	△1,859	△2,274
流動資産合計	5,774,362	6,649,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,149,577	3,149,360
減価償却累計額	△1,553,274	△1,527,746
建物及び構築物(純額)	1,596,302	1,621,613
土地	1,431,320	1,431,320
建設仮勘定	141,120	141,120
その他	481,601	471,368
減価償却累計額	△323,499	△307,278
その他(純額)	158,102	164,090
有形固定資産合計	3,326,845	3,358,144
無形固定資産		
のれん	208,575	212,900
その他	133,486	137,765
無形固定資産合計	342,061	350,665
投資その他の資産		
投資有価証券	622,315	589,712
繰延税金資産	30,773	32,405
その他	623,140	606,801
貸倒引当金	△38,589	△38,588
投資その他の資産合計	1,237,640	1,190,330
固定資産合計	4,906,547	4,899,141
資産合計	10,680,910	11,548,684

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,001,864	907,237
短期借入金	1,089,926	1,739,926
未払法人税等	5,861	137,879
携帯電話短期解約返戻引当金	125	178
賞与引当金	73,692	156,173
役員賞与引当金	8,105	28,800
その他	349,048	369,082
流動負債合計	2,528,623	3,339,278
固定負債		
長期借入金	1,204,890	1,217,390
繰延税金負債	82,922	59,103
退職給付引当金	40,505	42,666
役員退職慰労引当金	121,563	148,002
その他	177,611	152,970
固定負債合計	1,627,492	1,620,132
負債合計	4,156,116	4,959,410
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	802,090	802,090
利益剰余金	4,831,756	4,840,237
自己株式	△37,713	△12,418
株主資本合計	6,448,883	6,482,659
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,954	530
繰延ヘッジ損益	54,472	106,519
為替換算調整勘定	△515	△435
評価・換算差額等合計	75,910	106,614
純資産合計	6,524,794	6,589,274
負債純資産合計	10,680,910	11,548,684

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	4,311,330	3,774,272
売上原価	3,358,348	2,873,879
売上総利益	952,982	900,393
販売費及び一般管理費	927,703	846,027
営業利益	25,278	54,365
営業外収益		
受取利息	49	125
受取配当金	8,392	2,086
販売奨励金	12,228	7,090
デリバティブ評価益	35,628	—
持分法による投資利益	12,721	3,130
その他	6,943	1,744
営業外収益合計	75,962	14,177
営業外費用		
支払利息	9,923	8,090
その他	361	195
営業外費用合計	10,284	8,285
経常利益	90,956	60,256
特別利益		
投資有価証券売却益	11,157	—
特別利益合計	11,157	—
特別損失		
投資有価証券売却損	9,429	—
特別損失合計	9,429	—
税金等調整前四半期純利益	92,684	60,256
法人税、住民税及び事業税	4,324	4,055
法人税等調整額	40,907	31,597
法人税等合計	45,231	35,652
四半期純利益	47,452	24,603

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位：千円)

	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	開発事業	福祉事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客 に対する 売上高	3,375,615	344,878	326,534	115,412	148,889	4,311,330	—	4,311,330
(2) セグメン ト間の内部 売上高又は 振替高	39,536	—	336	—	—	39,872	(39,872)	—
計	3,415,152	344,878	326,871	115,412	148,889	4,351,203	(39,872)	4,311,330
営業費用	3,373,533	377,697	317,217	101,663	156,196	4,326,308	(40,256)	4,286,051
営業利益又は 営業損失(△)	41,618	△32,818	9,653	13,748	△7,307	24,894	383	25,278

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：千円)

	自動車関連 卸売事業	自動車関連 小売事業	開発事業	福祉事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客 に対する 売上高	3,015,290	365,271	91,010	130,855	171,844	3,774,272	—	3,774,272
(2) セグメン ト間の内部 売上高又は 振替高	29,103	222	212	—	—	29,538	(29,538)	—
計	3,044,393	365,493	91,223	130,855	171,844	3,803,810	(29,538)	3,774,272
営業費用	2,992,474	376,384	105,157	114,266	164,218	3,752,501	(32,594)	3,719,906
営業利益又は 営業損失(△)	51,919	△10,890	△13,934	16,588	7,626	51,309	3,056	54,365

(注) 1 事業区分は、当社の内部管理上採用している区分をベースに、製品の種類・性質、販売市場の類似性を考慮し、自動車関連卸売事業、自動車関連小売事業、開発事業、福祉事業及びその他の事業に区分しております。

2 各事業区分の主要な内容

- (1) 自動車関連卸売事業……一般市販市場へのホイールを中心とした自動車関連商品の製造及び販売
- (2) 自動車関連小売事業……一般消費者へのホイールを中心とした自動車関連商品の販売
- (3) 開発事業……設備等の販売、工事請負
- (4) 福祉事業……高齢者向けの複合福祉サービスの提供
- (5) その他……携帯電話代理店



〔所在地別セグメント情報〕

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しています。

〔海外売上高〕

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しています。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。